

HEART to HEART



令和6年2月15日(木)発行

令和5年度も残すところあとわずかとなりました。6年生は卒業まで1か月を切りました。進級や進学に向けて、それぞれの目標をもって準備を進めてほしいと思います。

今回は、12月下旬から1月に行われた授業で、外国語やことば、コミュニケーションについて学ぶ児童の姿を紹介します。

アナウンサーから学ぼう (5, 6年会話科「ことばの時間」)

12月15日(金)に、宇都宮アナウンスアカデミーの小田島建夫先生に、会話科「ことばの時間」の授業を行っていただきました。3時間目に5年生が「校内放送の上手な原稿の読み方」、4時間目に6年生が「効果的なプレゼンテーションの話し方」について教えていただきました。



5年生は、自分で考えた放送原稿を代表して数名が読みました。マイクを前に緊張する様子も見られましたが、堂々とはっきりとした声で原稿を読むことができ、さらによくなる方法について、小田島先生からたくさんのアドバイスをいただきました。聞き手の反応をイメージした間の取り方や、特に重要な部分がどこかを意識することができる読解力など、多くのポイントを教えていただきました。

6年生は、国語科の「町の未来をえがこう」で行ったプレゼンテーションを見ていただき、どのように改善すればさらに相手に伝わりやすい話し方ができるかについてアドバイスをいただきました。ゆっくり話したり繰り返して伝えたりすることで、強調したいところがより伝わりやすくなることや、間の取り方を工夫したり言葉を言い換えたりすることで、聞いている相手も内容を理解しやすくなることを教えていただきました。班ごとのアドバイスは次の班の発表に生かされ、子供たちが理解しすぐに実践へとつなげられている様子が見られました。



児童のふり返りから、具体的なアドバイスでとても分かりやすかったことや、自分が思っている以上に間を取った方がよいことへの気づきなど、それぞれの改善点を今後のプレゼンテーションに生かしたいという気持ちが伝わりました。12月25日(月)の那須高原小学校との交流授業でも意識して取り組んでいる児童の姿が多く見られました。

My Best Memory(6年生外国語科研究授業)

12月20日(水)に6年生の外国語科の研究授業を行いました。この単元では、「What's your best memory?」を用いて、小学校での思い出を尋ねたり、「My best memory is ～」を用いて、自分の思い出を伝えたりしました。研究授業では、旧担任の先生方の思い出を聞くこともでき、懐かしい思い出に歓声が上がりました。

外国語科の授業では、新しい表現を練習した際の音声を動画に残し、それを次の授業で聞き返したり、友達の意見を聞いたりすることで、自分の表現をさらによくなっていくことができました。個人用タブレットパソコンを活用することで、自分の学びを音で残したり聞き返したりと、外国語の学習ならではの課題を解決することにもつながりました。



This is my town. (6年生外国語科交流授業)

12月25日(月)に、6年生の外国語科で、Google Meet を使って那須高原小学校との交流授業を行いました。本校からは、清原地区の魅力について、スライドを用いてプレゼンテーションを行いました。4つの班に分かれて発表しましたが、どの班も紹介する内容が異なり、清原地区の魅力をたくさん発信することができました。

那須高原小学校からは、那須町を紹介するパンフレットを作成し、それを提示しながらのプレゼンテーションが行われました。本校児童はテレビに映し出されたパンフレットを見ながら、相手の話す英語に注意を傾けながら聞いていました。相手校の先生から「冬休みに、LRTに乗って清原に行ってきたよ。」という児童が複数いたという嬉しい報告をいただきました。本校児童も他の町の魅力について知るよい機会になりました



3, 4 年生の朗読発表



1月24日(水)に3,4年生が朗読発表を行いました。本年度も小田島先生に朗読の心得などを教えていただきました。

「外郎売(うしろうり)」の発表と、3年生は栃木の民話を5作品、4年生は「ごんぎつね」の作者である新美南吉さんの物語を5作品発表しました。

3年生は、姿勢や基本的な声の出し方に加え、抑揚や速さ、視線など、聞いている人に話の内容が伝わるような「語り」をするようご指導をいただきました。本番では、練習の成果が発揮され、全員での「外郎売」、グループごとの民話を上手に発表し、子供達が達成感を味わうことができました。「相手を尊重する」というコミュニケーションの基礎ともいえる部分を学ぶことができました。

4年生は、昨年学習したことに加え、聞いている人が物語を想像できるように、間の取り方や抑揚の付け方など、役になりきる読み方をご指導いただきました。本番では、一人一人が練習の成果を発揮して、ナレーターや登場人物になりきって発表することができました。



5年生きよきたふれあい楽習

5年生は、きよきたふれあい楽習で「伝え合う楽しさ」(ことばの時間)を行いました。

1月23日(火)にゲストに職員室の先生を招き行った、「サイコロトーク」では、サイコロの出た目の話題について、話をしました。話す・聞くポイントとして「話す人は理由も付け加えて話すこと」「聞く人は、自分の考えと比べながら人の話を最後まで聞くこと」を意識してサイコロトークを楽しみました。トークテーマとして「将来の夢」や「願いが一つかなうなら」など普段会話しない話題についてグループで話しました。振り返りでは、「5年間一緒だったけど、知らないことがあった。」や「相手に伝わるように理由が入れられた。」、「普段の会話に生かしたい。」などの記述が見られました。

今回の学習で学んだことを普段の生活や授業の中でも活用して生活させようと思います。

